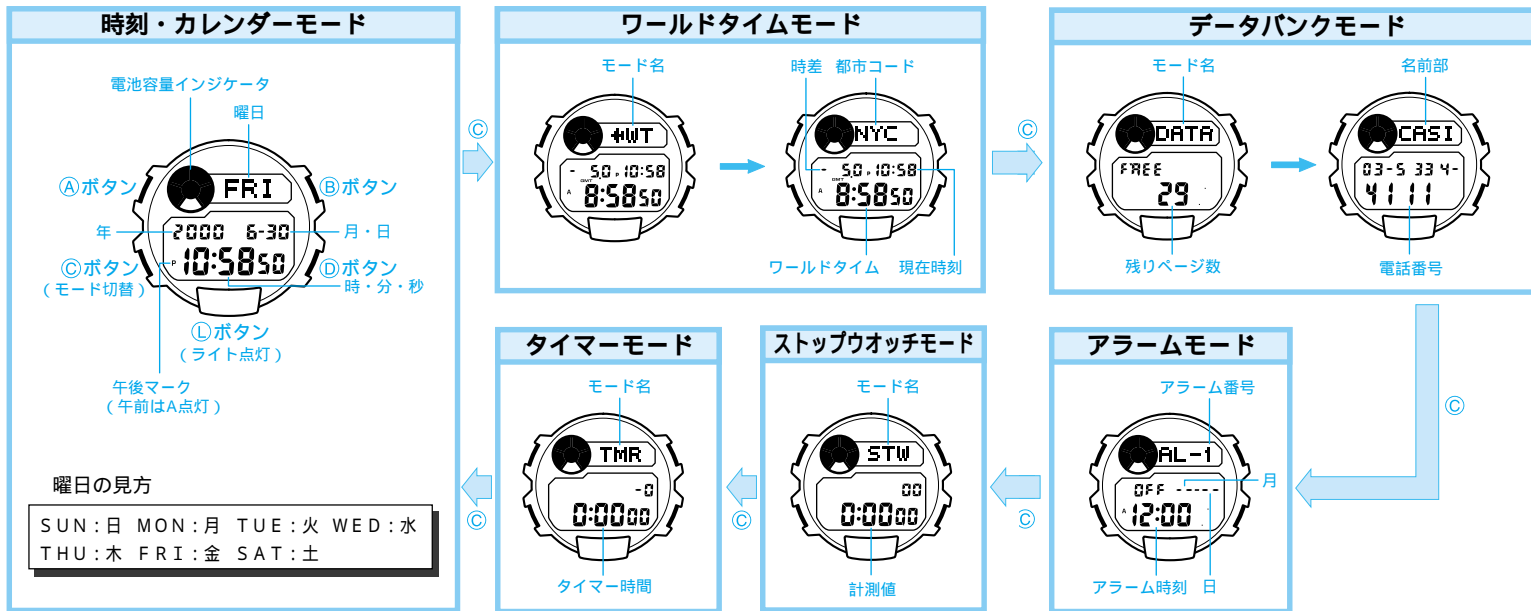
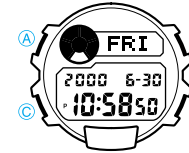


操作のしくみと表示の見方 ◎ ボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。



デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。(この間、モード切り替え等の操作はできません)



デモ表示の解除

① ① ボタンを約2秒間、確認音が鳴るまで押し続けます。

デモ表示の設定

- ① ① ボタンを約2秒間押し続けて「節電モード」にします。
節電モードについては5ページ「節電機能」をご覧ください。
- ② 続けて① ボタンを約2秒間押し続けるとデモ表示になります。
二次電池の容量が少ないときや電池に大きな負担がかかったときは、デモ表示にはなりません。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると暗いときに文字板が発光するオートライト機能もあります。

ボタンを押して発光させる ~ 手動発光 ~

どのモードのときでも、

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。



オートライトOFFのときも① ボタンを押すと発光します。

「デモ表示」または「節電モード」のときは① ボタンを押してもライト点灯を行いません。

時計を傾けて発光させる

~ オートライト機能 ~

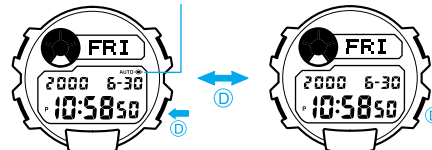
オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾げるだけで文字板が発光する便利なフルオートライト機能です。

明るいときは、自動発光しません。

暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけで文字板が約2秒間発光します。

準備: 時刻・カレンダーモードのとき① ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON (AUTO点灯) にします。

オートライトONマーク



< オートライト作動します >

< オートライト作動しません >

オートライトONのとき、① ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF (AUTO消灯) に戻ります。オートライトON/OFF設定は、時刻・カレンダーモードのときのみにできます。

文字板を発光させる



オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。文字板の左右(3時-9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。

EL 発光についてのご注意

直射日光下では発光が見えにくくなります。発光中に① ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

オートライトご使用時の注意

オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。(24ページ「製品仕様」参照)

時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。

文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約2秒間のみとなります。

時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。

時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

ワールドタイムの使い方 ◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン(27都市)の時刻および世界標準時(GMT)の時刻を簡単に知ることができます。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、DまたはBボタンを押します

⇒ DまたはBボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。

D・Bボタンとも、押し続けると早送りします。



ワールドタイムの合わせ方

ワールドタイムの時刻は、表示される都市のうち、ある1つの時刻を合わせると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

(1) 都市コードを選ぶ

ワールドタイムモードのとき、DまたはBボタンを押します

⇒ DまたはBボタンを押して、セットしたい都市コードを選びます。

(2) セット状態にする

A ボタンを約2秒間押します

⇒ ONまたはOFFが点滅します。

このとき、D ボタンを押すごとにサマータイム(DST)のON/OFFを設定することができます。(11ページ参照)

例 都市コード「TYO」(東京)をセットする



(3) 「時」のセット

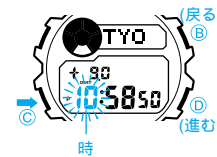
C ボタンを押します

⇒ 「時」が点滅します。

D または B ボタンを押します

⇒ D ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、B ボタンを押すごとに戻ります。

D・B ボタンとも、押し続けると早送りします。



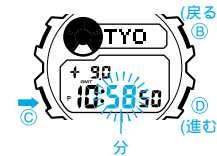
(4) 「分」のセット

C ボタンを押します

⇒ 「分」が点滅します。

D または B ボタンを押します

⇒ 「時」のセットと同様に D または B ボタンでセットします。



(5) セットを終わる

A ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

サマータイム(DST)のON/OFF設定

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。

(1) ワールドタイムモードのとき、D または B ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

(2) A ボタンを約2秒間押します

⇒ ONまたはOFFが点滅します。

(3) D ボタンを押します

⇒ ONまたはOFFが切り替わります。

OFF = 通常時間
ON = サマータイム設定
サマータイムをONにすると「DST」マークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。サマータイムは各都市ごとに設定することができます。ただし、「GMT」表示のときは、サマータイム設定はできません。



(4) A ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---		-11	バゴバゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、 バイルート
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	-9	ノーム	JED	ジッダ	+3	クウェート、モスクワ
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、 ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+3.5	
DEN	デンバー	-7	エルバソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4	アブダビ
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、 メキシコシティ	KBL	カブール	+4.5	
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、 マイアミ、ボストン	KHI	カラチ	+5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ	DEL	デリー	+5.5	
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、 ブエノスアイレス	DAC	ダッカ	+6	
---		-2		RGN	ヤンゴン	+6.5	
---		-1	アゾレス諸島	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
GMT		±0	<グリニッジ標準時>	HKG	ホンコン (香港)	+8	シンガポール、 クアラルンプール、 北京、台北、マニラ
LON	ロンドン	±0	ダブリン	ADL	アデレード	+9.5	
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、 フランクフルト	SYD	シドニー	+10	グアム
				NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

この表は1999年12月現在作成のものです。

この表の時差はグリニッジ標準時(協定世界時:UTC)を基準としたものです。

データバンク機能の使い方

◎ ボタンを押して、データバンクモードにします。

データバンクモードでは、1件につき名前8文字、電話番号14桁を最大30件メモリーできます。

データバンクモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート*)が行われます。

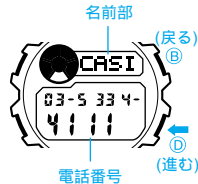
*自動ソート...記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順はアルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(-./:)です。

データのサーチ

データバンクモードのとき、① または ② ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに名前順に進み、② ボタンを押すごとに逆方向に進みます。押し続けると早送りします。

名前が5文字以上ときは、右から左に流れて表示されます。



データを修正する

(1) ① または ② ボタンを押して修正したいページを選びます

(2) ④ ボタンを約2秒間押します

⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

(3) 修正したい部分まで◎ボタンを押して点滅を送り、① または ② ボタンを押して文字(数字)を修正します

(4) 修正が終わりましたら、④ ボタンを押します

テレメモデータを入力する

(1) 空きページを選ぶ

データバンクモードのとき、① ボタンと② ボタンを同時に押し、空きページを表示させます



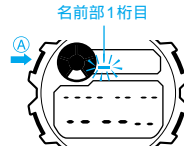
データが1件もメモリーされていないときは「NO-DATA」と表示されます。

データがすでに30件メモリーされているときは「FULL」と表示されます。このときは、不要なデータを消去しておいてください。(「データを消去する」参照)

(2) セット状態にする

④ ボタンを約2秒間押します

⇒ 名前部1桁目が点滅します。



データを消去する

(1) ① または ② ボタンを押して消去したいページを選びます

(2) ④ ボタンを約2秒間押します

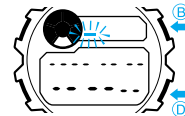
⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

(3) ① ボタンと② ボタンを同時に押します

⇒ データが1件消去されます。

このとき引き続き他のデータを入力することができます。

(4) 消去が終わりましたら、④ ボタンを押します

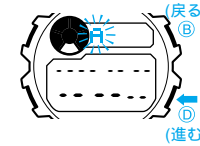


(3) 点滅箇所のセット

① または ② ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

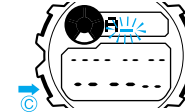
①・② ボタンとも、押し続けると早送りします。



(4) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目~8桁目 電話番号1桁目~14桁目 名前部1桁目...」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



名前部の入力が終わりましたら、◎ボタンを押して点滅箇所を電話番号部に移動させます。



(3)~(4)の操作を繰り返して、データを入力していきます

名前は最大8文字、電話番号は最大14桁まで入力できます。

入力できる文字は、名前部セットのときは(空白)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(-./:)で、番号部セットのときは-、0~9、(空白)です。

(5) セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒「SORT」表示後、セット表示となり、続けて他のデータを入力することができます。もう一度④ボタンを押すと、点滅が止まります。

30件目を入力したときは、「FULL」表示になります。点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方

◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、月・日・時・分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

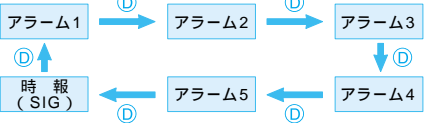
以下の場合には、アラーム・時報がONでも報音しなくなります。(このとき、アラームマークおよび時報マークの上に“x”が点灯します)
二次電池の容量がレベル4以下になったとき
電池に大きな負担がかかり、一時的に電池電圧が戻らないとき

アラーム時刻のセット

(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、**◎** ボタンを押します

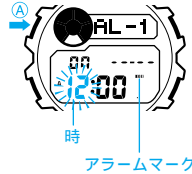
⇒ **◎** ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。



(2) セット状態にする

▲ ボタンを約2秒間押しします

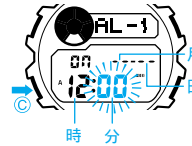
⇒ 「時」が点滅します。このとき、アラームが自動的にONになり、「|||||」が点灯します。



(3) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ **◎** ボタンを押すごとに点滅箇所が「時 分 月 日 時...」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

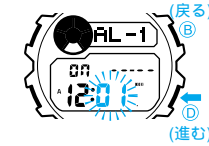


(4) 点滅箇所のセット

◎ または **◎** ボタンを押します

⇒ **◎** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**◎** ボタンを押すごとに戻ります。

◎・**◎** ボタンとも、押し続けると早送りします。



(3)~(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます

「時」のセットのとき午前(A)/午後(P) または 24時間制にご注意ください。

基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らすとき 「時・分」のみセット
1ヶ月間毎日鳴らすとき ... 「月・時・分」をセット
毎月同じ日に鳴らすとき ... 「日・時・分」をセット
指定日に鳴らすとき 「月・日・時・分」すべてセット

(5) セットを終わる

▲ ボタンを押します

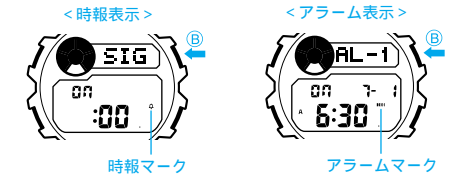
⇒ 点滅が止まり、セット完了です。点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報のON/OFF設定

準備: アラームモードのとき、**◎** ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報(SIG)表示を選びます。

◎ ボタンを押します

⇒ **◎** ボタンを押すごとに、マークが点灯/消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

モニターアラーム

アラームモードのとき、**◎** ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方

◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。また、スタートの5秒前からカウントダウンを開始するオートスタート機能もあります。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、**◎** ボタンを押します

⇒ **◎** ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



計測中に**◎** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。("SPL"表示)

スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

計測終了後**◎** ボタンを押すと、計測値が0に戻ります。(リセット)

通常計測



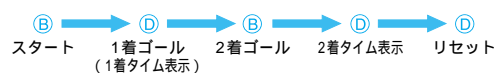
<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに**◎** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム(途中経過時間)の計測



1・2着同時計測



オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート(計測開始)の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。

オートスタート表示にするには

計測リセット状態のとき、**▲** ボタンを押します



⇒ **▲** ボタンを押すごとに通常表示とオートスタート表示とが切り替わります。

オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき、**◎** ボタンを押します

⇒ 5秒前からのカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに電子音が鳴ります。

カウントダウンを中止し即スタートするときは、**◎** ボタンを押します。

計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同様になります。

タイマーの使い方 ◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1秒単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過(タイムアップ)すると10秒間の電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。(タイマー方法の選び方については、21ページ参照)

リピートタイマー(繰り返し計測)
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。
オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。
オートリピートタイマーを選ぶと「」マークが点灯します。

タイマー時間のセット

- セット状態にする
タイマーモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押しします
→「時」が点滅します。
- セット箇所を選ぶ
C ボタンを押します
→ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が「時 分 秒 タイマー切替 時...」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
- 点滅箇所のセット
D または **B** ボタンを押します
→ **D** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。
D・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。

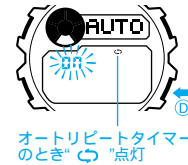
(2)~(3)の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします

タイマー時間を24時間に設定するときは表示を「0:00 00」にします。

タイマー方法の選び方

「タイマー切替」のとき、**D** ボタンを押します

→ **D** ボタンを押すごとに、リピートタイマーとオートリピートタイマー(「」点灯)が切り替わります。



(4)セットを終わる

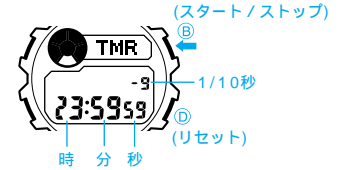
A ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。
点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

タイマーの使い方

タイマーモードのとき、**B** ボタンを押します

→ **B** ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。計測は1/10秒単位で行ないます。



計測ストップ後**B** ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。
ロスタイムがあるときは、**B** ボタンでストップ後、もう一度 **B** ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒*間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。
* オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻・カレンダーモードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

「秒」合わせ...30秒以内の遅れ/進みの修正

- セット状態にする
時刻・カレンダーモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押しします
→「秒」が点滅します。
- 時報に合わせて **D** ボタンを押します
→ 「00秒」からスタートします。
秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)
- セットを終わる
A ボタンを押します
→ 点滅が止まり、セット完了です。
点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

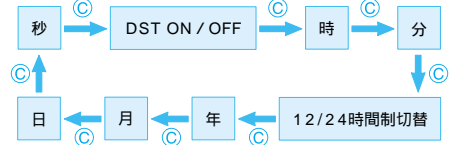
「時刻・カレンダー」合わせ

- セット状態にする
時刻・カレンダーモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押しします
→「秒」が点滅します。
- サマータイム(DST)のON/OFFを選ぶ
C ボタンを押します
→ ONまたはOFFが点滅します。
OFF = 通常時間
ON = サマータイム設定
- D** ボタンを押します
→ ONまたはOFFが切り替わります。
サマータイムをONにすると「DST」マークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

(3)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **C** ボタンを押します

→ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **D** または **B** ボタンを押します

→ **D** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。
D・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a. ~ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます

「12/24時間制切替」のときは、**D** ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」とが切り替わります。

「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)または24時間制にご注意ください。

「年」は2000~2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4)セットを終わる

A ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。
点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。